

将来像実現に向けた取り組み

1 まちづくりの方向性

本市の将来像の実現を目指すに当たっては、「人のみがきあげ」「産業のみがきあげ」「基盤のみがきあげ」をまちづくりの基本的な考え方とする中で、市民や事業者など、本市に関わる方々と行政が、心をつぎに合わせ、共通認識を深めた上で、協働を図っていくことが重要です。

また、人口減少が予想され、本市の財政運営が厳しさを増す中で、人や財源などの限られた資源を有効に活用していくことも必要です。

本市はこうした方向性に沿ってまちづくりを進めていきます。

2 基本目標

本市では、将来像の実現に当たり、3つの基本目標を定め、取り組んでいきます。

基本目標1 幸せ実感 ころ豊かに暮らせるまち

安心して子供を産み、子育てできる環境の充実を図るとともに、地域での支え合いを大切に、誰もが住みなれた場所でいきいきと暮らせるまちをつくれます。

そして、市民一人ひとりが希望を持ち活躍できる環境を通じて、心身ともに健全で、ころ豊かに暮らし幸せを実感できるまちをつくるため「幸せ実感 ころ豊かに暮らせるまち」を目標とします。

基本目標2 幸せ実感 にぎわいあふれるまち

地域の資源を掘り起こし、磨き上げることにより、農業や観光業の活性化を図るとともに、起業の促進や企業誘致を推進し、雇用の確保、多様な働き方が展開されるまちをつくれます。

そして、国内外の人々が盛んに行き交い、本市の産業が活性化することで幸せを実感できるまちをつくるため「幸せ実感 にぎわいあふれるまち」を目標とします。

基本目標3 幸せ実感 100年続くまち

市民による主体的な活動の促進と、それを行政が支える体制を構築する中で、市民、団体、事業者、行政が、それぞれの役割を自覚し力を合わせ、ともに考えともに行動し持続可能な地域活動を実現する協働によるまちをつくれます。

市の行財政基盤は、財政的にも人事的にも弾力性が失われつつあります。市民ニーズに的確に応えるとともに、引き続き質の高い行政サービスを提供していくため、健全で身の丈にあった行財政改革に取り組めます。

そして、豊かな自然環境と調和した都市としての姿を今後も保ち、災害や犯罪等の不安なく、安全、安心に暮らし続けることができる環境を通じて幸せを実感できるまちをつくるため「幸せ実感 100年続くまち」を目標とします。

ハートフルタウン笛吹

～優しさあふれるまち～

概要版



笛吹市

ごあいさつ

2004(平成16)年10月12日、石和町、御坂町、一宮町、八代町、境川村、春日居町の5町1村が合併し、笛吹市が誕生して14年目となりました。さらに、2006(平成18)年8月1日に芦川村を編入合併し、現在の笛吹市となりました。合併後、本市では、2008(平成20)年度から2017(平成29)年度までの10年間を計画期間とする総合計画を策定し、市民との協働、多彩な地域資源を活かしたまちづくりを進めてきました。

現在、本市を取り巻く環境は、人口減少、少子高齢化の急速な進行、大規模災害発生への不安の高まり、厳しさを増す財政状況など、これら課題への対応が必要となっています。

このような本市の状況を踏まえ、この度、今後8年間の新しい本市の方向性を示し、かつ、市民や事業者とともにまちづくりを進める活動の指針となる「第二次笛吹市総合計画(2018～2025)」を策定いたしました。

本計画では、将来像を「ハートフルタウン笛吹～優しさあふれるまち～」と定め、この笛吹市に関わりを持つ全ての「人」「産業」「基盤」を『みがきあげる』ことで、市の発展を牽引し、この笛吹市に住むことの幸せを実感していただくことを念頭に、施策や取り組みの方向性を示しています。

将来像を実現し、100年先も豊かで元気な笛吹市を市民の皆様とともに築き上げ、本市に住む誰もが、心豊かに優しい気持ちで、安心して暮らすことができるまちづくりを進めてまいります。

また、「市民ファースト」の理念にもとづき、これまで以上に市民の皆様と行政が対話と創意工夫を重ね、共通認識と相互理解の下、『ひとつの笛吹市』を目指してまいります。

結びに、本計画の策定にあたりまして、熱心に御審議いただいた笛吹市総合計画審議会委員の皆様をはじめ、ワークショップやアンケート調査など、貴重な御意見や御提言を賜りました多くの市民、事業者の皆様に、心から感謝申し上げます。

皆様の想いを胸に、この総合計画を着実に推進し、「ハートフルタウン笛吹～優しさあふれるまち～」をつくりあげてまいります。



笛吹市長

→ 下 政 樹

将来像

ハートフルタウン笛吹

～優しさあふれるまち～



子育てしやすい まちづくり

- 子育てを支える環境づくり
- 未来を担う青少年を育む環境づくり

誰もが 安心して暮せる まちづくり

- 高齢者がいつまでも自分らしく暮らせる地域づくり
- 暮らしの基礎を支える環境づくり
- 障がい者の社会参加を支援する環境づくり
- 生涯を通じた健康づくりの推進
- ライフステージに応じた相談体制の充実

人と文化を育む まちづくり

- 子どもの未来を見据えた学校教育の充実
- 人生を彩る生涯学習の推進
- スポーツ活動の推進
- 地域文化の普及と活用への取組の推進



再び訪れたい まちづくり

- おもてなし空間の構築
- 魅力ある観光情報の発信
- 四季を通じた観光資源の開発

実り豊かな ブランド 農林業づくり

- 活力に満ちた果樹農業地帯の創造
- 魅力ある森林環境の保全

活力ある 地域経済づくり

- 地元雇用を生む企業誘致の推進
- 活力ある商工業の推進

移り暮らせる 魅力ある まちづくり

- シティプロモーションの推進
- 移住者受入態勢の推進



将来を 見据えた 土地利用を 推進する まちづくり

- 魅力ある計画的な土地利用の推進
- 正確な土地情報の管理と魅力あふれる景観の形成

安全、安心で 災害に強い まちづくり

- 強固なライフラインの確保
- 日々の生活を支える防犯と交通安全対策の推進
- 地域防災力の向上と生命、財産を守るための体制強化

快適な 生活環境づくり

- 美しい環境の保全と循環型社会の構築
- 市民の憩いの場の環境整備と活用の促進
- 安心できる住環境づくり
- 効率的な交通ネットワークの構築

市民が起点、 地域社会を 支える協働の まちづくり

- 市政への理解が広がる広聴広報の推進
- 協働のまちづくりの推進
- 主体的な地域活動の促進

将来を 見据えた 行財政づくり

- 開かれた行政実現に向けた情報公開の推進
- 親しみやすく機能的な市役所づくりの推進
- 未来に誇れる健全な財政基盤の確立